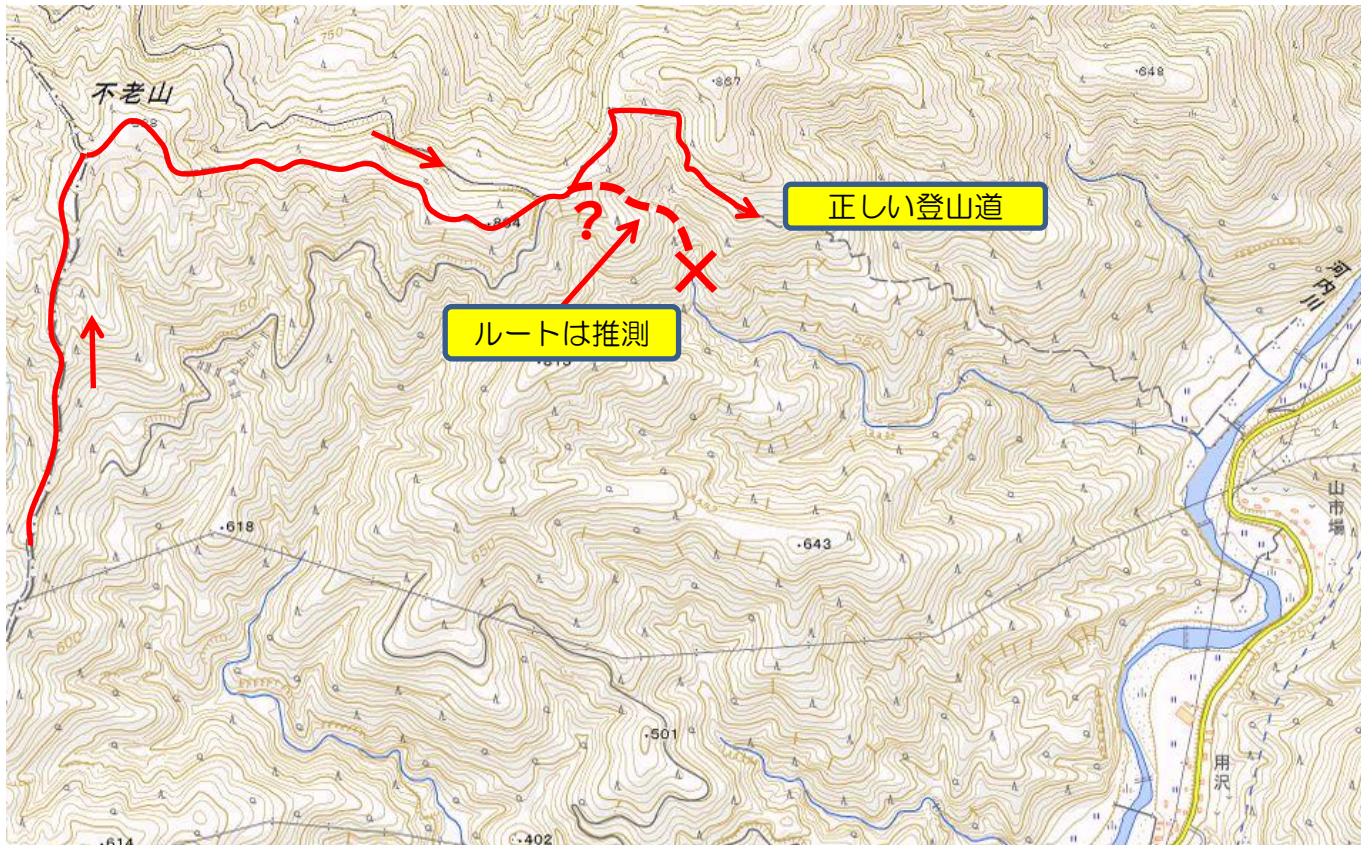


不老山遭難(2010年12月)

下山で道に迷ったことに気づいたが沢まで下りてしまい、戻る道が見つからず110番通報。里山で電波が繋がったため無事救助された。



解説

女性2人(61歳、57歳)は金時公園橋から不老山に登り、12時45分、番ヶ平方面へ向かった。16時、道に迷ったことに気づいたが、沢まで下りてしまい、戻る道を探したが見つからず110番通報した。警察署員が10時15分に入山。20時30分、燧沢源流部にいた女性らをロープで引き上げ救助した。

下りでは圧倒的に道に迷いやすい。特に里山では、落ち葉で道が見えないことも少なくない。また、登り道と下る道が違う場合では、道に迷う確率は高くなる。この事例では、里山で電波が通じ、警察に通報することができ事なきを得た。

電波が通じた場合は、動かないことも一つの助かる方法だが、電波が通じなかったとしたら…。12月という季節も考慮し、十分な装備を持って登山を楽しんでほしい。